

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 431

所管部局	農林商工部	所管課	農林整備課	担当者名	谷 裕之
事業名	林業総務事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	林業総務事業			政策体系	211
会計	一般会計	科目	6.農林 - 2.林業 - 1.林業		

## 1. 事業の概要

各林業振興推進団体負担金
--------------

## 2. 事業の目的と必要性

<p>①施策で目指す目標との関連付け 管内の林業施策を研究し、諸事業の拡充強化と促進を図る</p> <p>②事業を実施する必要性 共有の環境財産でもある森林を適切に管理し、林業・林産物を住民の方々に広く紹介すると共に、地域産材の需要拡大と流通の改善等を図るためには必要不可欠である</p>
--

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	1,547	783	744	1,371	1,196	1,196	1,196
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	5	2	2	3	6	6	6
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,542	781	742	1,368	1,190	1,190	1,190
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.02	0.10			
人件費		千円	—	—	100	695			
事業費総額		千円	—	—	844	2,066			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

南丹・京丹波林業振興会負担金, 丹波広域基幹林道推進協議会負担金等 1,274,400円（負担金他）
--

## 5. 事業結果の概要

南丹・京丹波林業振興会負担金, 丹波広域基幹林道推進協議会負担金等
-----------------------------------

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 南丹・京丹波林業振興会</b>		
緑の募金活動 幹事会（機関誌の発行について） 京都府林業振興会通常総会 京都丹波くりまつりの後援・助成 南丹・京丹波林業振興展の共催・助成 幹事会（総会議案等） 機関誌の発行「南丹・京丹波の林業」 南丹・京丹波林業振興会通常総会 門松カードの配布	21. 5、21. 7. 31、 21. 8. 25、21. 10. 3、 21. 10. 3～10. 31、 21. 10. 30、21. 11、	・林業・特用林産物等を広く住民に紹介し、共有の環境財産でもある森林に関心を持ってもらう。  ・他に、森林土木関係事業の書籍等配布事業。
<b>(2) 丹波広域基幹林道推進協議会</b>		
幹事会（事業及び決算報告、事業計画及び予算案審議、役員選出） 協議会総会 南山城横断林道視察研修。	幹事会21. 7. 8 21. 12. 17 総会21. 7. 31、 常任委員会21. 8. 20、 南山城横断林道視察研修 22. 1、26	平成21年度 市町管理移管に向け、南山城横断林の視察研修

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

引き続き、将来を見据えた事業の継続が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
義務負担金、経常経費の支出である。
- ②当該事業のアピール事項  
林業・特用林産物等を広く住民にPRし共有の環境財産でもある森林に関心を持ってもらう。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
引き続き、将来を見据えた事業の継続が必要である。